



新たなるステージへ、
Juju、国内最高峰に挑む 3 年目の戦いがスタート！

HAZAMA ANDO Triple Tree Racing (以下、チーム)は、2026 年 4 月 3 日～5 日に栃木県・モビリティリゾートもてぎで開催される「全日本スーパーフォーミュラ選手権」(以下、SF)第 1 戦および第 2 戦に参戦します。



チームにとって 2 年目、そしてドライバー Juju にとっては国内最高峰のフォーミュラである SF 参戦 3 年目となる今シーズンに向けて、チームは御殿場に新ファクトリーを設立し、チームとしての絆を深め、全員が一丸となって戦うべく、開幕戦に向けての準備を日々整えております。

先日鈴鹿サーキットで開催された第 1 回 SF 合同テストで得られたデータと課題を分析し、車両のベースセットに関しましては、ストップ＆ゴーの要素が多いモビリティリゾートもてぎを意識したアジャストを施しています。また、新たなルール変更に伴うピット戦略に関してもシミュレーションを繰り返し、攻めのレースを意識しつつ、タイヤ交換でのタイムロスが無いよう、メカニックたちは体力トレーニングとタイヤ交換の練習といった地道な努力を続けています。

ドライバーの Juju も、SF 合同テスト翌日にはヨーロッパに飛び、開幕戦に向けてトレーニングに励みました。そして 3 月 22 日にはジャガー TCSレーシングに招聘され、スペインのハラマ・サー

Triple Tree Racing





キットで開催されたフォーミュラ E ルーキーテストに参加し、チーム首脳陣から高い評価を得ることができました。その直前に開催されたフォーミュラ E 第 6 戦ではジャガーTCSレーシングが 1-2 フィニッシュを飾っており、Jujuもチームのファクトリーで 8 時間に及ぶシミュレーター作業を繰り返し、ジャガーTCSレーシングの一員として勝利に貢献できたことを誇りに思っております。

昨年のもビリティリゾートもてぎ大会では、レースウィークを通じてブレーキトラブルに苦しみながらも決勝ではしっかりとポジションを上げ、厳しい戦いを乗り越えた自信があります。チームはその経験を忘れることなく脳裏に刻み込み、さらなる成果を求めて開幕戦に臨みます。

◆ドライバー Juju のコメント

「昨シーズンが終わった段階からこの開幕戦まで、ずっと国内外でトレーニングに明け暮れ、本当にあっという間でした。こんなに充実したシーズンオフを過ごしたのは初めてで、その環境を用意してくださったマネジメントとチームに感謝しています。3 年目の SF 挑戦となる今年ですが、特に気負っているわけではなく、むしろリラックスできているのは自分自身の走りに対する自信の裏付けだと思います。今年、チームは新たにファクトリーを新設し、よりコミュニケーションを深めることができました。私もドライバーとして全力で頑張りますので応援よろしくお願いします」

◆監督 野田英樹のコメント

「新体制で臨んだ初めての鈴鹿SF合同テストでは、エンジニア間でのコミュニケーションの問題や、いろいろな課題が浮き彫りになりました。限られた時間の中で、最大限のことを試した結果、悪い面が多く出たことで、逆に問題解決につながる糸口をいくつも発見することに繋がりました。今年はチーム発足 2 年目ということで、自分たちの力を最大限発揮し、ドライバー、エンジニア、そしてメカニックたちの成長した姿を皆様にお見せできるよう頑張りたいと思います」

◆代表 村司宏樹のコメント

「開幕戦を迎えるにあたり、多くのスポンサーの皆さまからのご支援と叱咤激励、そして応援してください。ファンの方々の声援に心より感謝しております。我々チームにできることは、一切妥協することなく努力を継続し、結果でその恩をお返しすることがすべてです。Juju もチームも一丸となって、結束力で勝利を目指す、そんなお互いをリスペクトしながら、足りない部分はカバーしあい、全員が力を出し合えるチーム作りを目指しています。今シーズンもよろしくお願いします」

◆本件に関する問い合わせ先◆

Triple Tree Racing チーム代表 村司宏樹

e-mail: muraji@3tree.jp / mobile :080-3624-3989

Triple Tree Racing

